

対象学年	小学校 第3学年
学習指導要領	第3学年及び第4学年の内容 B書くこと(1)エ、オ 言語事項(1)ウ(イ)オ(イ)
単元名	「せつ明書を作ろう」(全7時間)
単元目標	<p>私の大好きな料理の材料や作り方の手順を、事柄の選択や段落相互の関係を工夫して、仲間にとって分かりやすい説明書を書くことができる。 (国語への関心・意欲・態度)</p> <p>料理の作業手順や様子を明確にしなが、段落と段落との続き方に注意して書くことができる。 (書く能力)</p> <p>お互いの説明書を読み合っ、料理の作業手順のまとまりの善し悪しや、手順のつながり方や順序の善し悪しを指摘することができる。 (書く能力)</p> <p>手順が分かりやすいように句読点を適切に打ち、また、段落の始めなどの必要な箇所は行を改めて書くことができる。 (言語についての知識・理解・技能)</p> <p>順序性を明確にする接続語を適切に使うことができる。 (言語についての知識・理解・技能)</p>
配慮事項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 個の学習状況に応じた多様な指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明する料理を決めることができない児童には、興味を持てそうな料理について教師から提示できるように準備しておく。または、整理されないままの文章などを用意しておき、子どもが自分で整理しなければならない教材を提示する。 ・説明書を書くことへのあこがれをもたせるように、分かりやすい説明書と、それに基づき手際よく料理を作る料理番組などのVTRを見せる。 ・どのような書き方がより分かりやすい説明書になるかを考えやすくするため、2種類の「作り方の手順」(A - 作り方の大きなまとまりごとに小見出しを付けて段落に分けた例 B - 順序よく書かれているが、段落が一つしかない例)を提示し比較する。 <p>一人一人のよさや進歩の状況の評価結果を学習活動に生かす指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私の大好きな料理」の特徴を表し、仲間が食べてみたい、作ってみたいと思う料理名が付けられている児童を価値付ける。 ・事柄のまとまりや時間の経過によって段落が区切られていることのよさについて書いている児童を価値付ける。 ・仲間の説明書のよいところや書き直した方がよいところを進んで指摘している児童を価値付ける。 ・これまでの学習をもとに、仲間に分かりやすいように、丁寧に清書している児童を価値付ける。 ・本単元で成長が見られた児童の説明書を紹介し、価値付ける。 <p>【言語活動】 私の大好きな料理についてよく分かる説明書を書くこと 【言語意識】</p> <p>(相手) 自分の学級の仲間 (目的) 仲間が食べてみたい、作ってみたいと思うような「私の大好きな料理」の作り方がよく分かる説明書を作るために</p> <p>(場面・状況) 家庭で・仲間の説明書をもとに実際に料理を作ることを考えて</p> <p>(方法) 段落と段落との続き方に注意した説明書で (評価) 調理する上でよく分かる説明書だったかどうか、グループや学級の仲間による評価の言葉によって</p>
参考資料	<p>資料1：第1時の学習プリント…「今までの作文学習をふりかえって」書く時に気を付けてきたことや気を付けていくとよいことに基づいて、本単元でのめあてをもつために使用</p> <p>資料2：第2時の学習プリント…「料理に名前を付けよう」私の大好きな料理に名前を付けるために使用</p> <p>資料3：第4時の学習プリント…「作り方の書き方について考えよう」A・B2種類の「作り方の手順」について比較し、そこから分かったことを書くために使用</p> <p>資料4：第4時の提示資料 ……「作り方の原稿例」A・B2種類の「作り方の手順」を比較し、書き方の観点を考えるために使用</p> <p>資料5：第7時の学習プリント…「学習を振り返ろう」本単元の学習を振り返り、成長点やこれからの課題をもつために使用</p>

2 単元の評価規準

	ア 国語への関心・意欲・態度	ウ 書く能力	オ 言語についての知識・理解・技能
内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じて、事柄の選択や段落相互の関係を工夫したり、よいところを見付けたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じて、適切に書いている。 書く必要のある事柄を収集したり選択したりしている。 自分の考えが明確になるように段落相互の関係を考えて書いている。 書こうとすることの中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書いている。 文章のよいところを見付けたり、間違いなどを正したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書いている。 句読点を適切に打ち、必要な箇所は行を改めて書いている。 文章全体における段落の役割を理解している。 表現するために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解している。 文と文との意味やつながりを考えながら、指示語や接続語を使っている。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 私の大好きな料理の作り方を、事柄の選択や段落相互の関係を工夫して、仲間によく分かる説明書を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な料理の材料や手順、調理後の様子などを書いている。 料理の作業手順を明確にしながら、順序性に気を付け、段落と段落との続き方に注意して書いている。 料理の作業手順のまとめりの善し悪しや、手順のつながり方や順序の善し悪しを指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> 句読点を適切に打ち、段落の始めなどの必要な箇所は行を改めて書いている。 順序性を明確にする接続語（まず、次に、それからなど）を適切に使って書いている。
単位時間における具体の評価規準	<p>説明書を書くことへの意欲を高めている。 書くときに気を付けてきたことやこれから気を付けていくとよいことを発表し、自分の書くことへのめあてをもっている。 事柄の選択や段落相互の関係など、より分かりやすい説明について考えようとしている。 自分の書き方を振り返り、書くことに対して次への課題をもっている。</p>	<p>大好きな理由を大切にし、相手意識に立って言葉を選び、料理名を考えている。 事柄ごとのまとめりや時間の経過によって段落を区切り、続き方に注意して書いている。 仲間の説明書のよいところや直した方がよいところを進んで指摘している。</p>	<p>句読点を適切に打ち、段落の始めを一字下げして書いている。 順序性を明確にする接続語を適切に使って書いている。</p>

3 指導と評価の計画（全7時間）

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	料理の説明書を書くよさや書くための手順を知り、意欲をもつとともに、書き方についての目標をもつことができる。	<p>各種料理本を見ることにより、料理の説明書を書くことへの意欲を高める。 自分の大好きな料理の作り方がよく分かり、読んだ仲間が作ってみたいと思うような説明書を書くことを知る。 (最後に「3年2組の大好きな料理集」として一冊にまとめる) 作文を書くときに気を付けてきたことやこれから気を付けていくとよいことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>書くことへのめあてをもち、仲間が食べてみたい、作ってみたいと思う私の大好きな料理を決めよう。</p> </div> <p>書き方についてできるようになりたいことを考え、めあてを決める。 私の大好きな料理の一つ決め、完成図を絵に描いてみる。 自慢料理について、家庭で取材してくることを知る。</p>	<p>アー 説明書を書くことへの意欲を高めている。</p> <p>アー 書くときに気を付けてきたことやこれから気を付けていくとよいことを発表し、自分の書くことへのめあてをもっている。</p>	<p>観察 料理を決めたりどのように書くのかの工夫を考えたりしているか観察する。</p> <p>学習プリント 書き方についての願いやめあてを書いているか評価する。)</p>	<p>各種料理本を提示することにより、どんな内容のことをどのように書けばよいのか、あこがれと見通しをもつことができるようにする。</p> <p>書くときに気を付けてきたことやこれから気を付けていくとよいことを発表させ、めあてとして位置付ける。 題材の中身の適切さについて一人一人に助言する。 家庭での取材の仕方を助言する。</p>
2	私の大好きな料理に名前を付けることができる。	<p>料理番組（「モグモグゴンボ」）のVTRを見て、料理に工夫した名前を付けていることを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>私の大好きな料理に名前をつけよう。</p> </div> <p>倒置法や呼びかけ、体言止めなどを使った料理名の例を知る。 提示された名前の例から気付いたことを発表する。 大好きな理由を大切にしながら名前を付けたことを知る。 私の大好きな料理の好きな理由を大切にしながら、仲間が食べてみたい、作ってみたいと思う料理名を考えて決める。</p>	<p>アー 説明書を書くことへの意欲を高めている。</p> <p>ウー 大好きな理由を大切にしながら、相手意識に立って言葉を選び、料理名を考えている。</p>	<p>観察 複数の名前を考え選択しようとしているか観察する。</p> <p>学習プリント 名付けた理由を箇条書きにしているか評価する。</p>	<p>相手意識に立ち、仲間が食べてみたい、作ってみたいという言葉を使うことと文末表現などについて気付かせる。</p> <p>私の大好きな料理の好きな理由を大切にしながら、仲間が食べてみたい、作ってみたいと思う料理名が付けられている児童を価値付ける。</p>
3 ・ 4 本 時 ・ 5	仲間にも簡単に作れるように、項目ごとに大切なことを明確にししながら、「材料」「作る手順」「コツ」の三つの項目で取材することができる。 わたしの大好きな料理について、事柄ごとのまとめや時間	<p>料理本を参考にしながら「材料」「作る手順」「コツ」の三つの項目で書くことを知る。 「材料」「作る手順」「コツ」の項目で各内容をメモする。</p> <p>2種類の「作り方の手順」を読み、どちらの方が分かりやすいかを考え、プリントに書く。 作り方の手順A 作り方の大きなまとめや時間</p>	<p>アー 事柄の選択や段落相互の関係など、より分かりやすい説明につ</p>	<p>学習プリント 小見出しや段落の分かりや</p>	<p>2種類の「作り方の手順」は、事柄ごとのまとめや時間の経緯によって段落</p>

	<p>の経過によって段落を区切り、続き方に気を付けて分かりやすい「作り方の手順」を書くことができる。</p>	<p>けて段落に分けた例 作り方の手順B 順序よく書かれているが、段落が一つしかない例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>段落の区切りに気を付けて、私の大好きな料理の「作り方の手順」を書こう。</p> </div> <p>「取材メモ」を見ながら、大段落や小段落をどのように決めて行くかを考える。</p> <p>「作り方の手順A」を参考にして、私の大好きな料理について、各自作り方の手順を書く。</p> <p>調理の中でいちばん気を付けなければいけないところやおいしく調理するために大切にしなければいけないところを選んで「コツ」を書く。</p> <p>書き上げた時点で、仲間同士で交流し、よいところを見付けたり書き直した方がよいところを正したりする。</p>	<p>いて考えようとしている。</p> <p>ウー 事柄ごとのまとめりや時間の経過によって段落を区切り、続き方に気を付けて書いている。</p> <p>オー 句読点を適切に打ち、段落の始めを一字下げして書いている。 オー 順序性に気を付けた接続語を使って書いている。</p>	<p>すさにふれているか評価する。</p> <p>学習プリント 小見出しに合った内容を書いているか評価する。</p> <p>学習プリント 句読点、接続語を使っているか評価する。</p>	<p>が区切られていることを板書をもとに示す。気付いたことを発表させ、段落に区切られていることよさについて板書に位置付け、視覚的に意識できるようにする。段落の区切りが決められない場合には、Bの提示資料をどのように直していくAの提示資料のようになるか、順を追って説明する。</p> <p>児童によって進度が異なると思われるので、書き上げた児童同士で交流し、句読点や接続語を確認する。</p>
6	<p>仲間に分かりやすい説明書になっているか推敲することができる。</p>	<p>仲間に分かりやすい説明書にするためには、どこを直せばよいかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>仲間に分かりやすい説明書にするためには、どこを直せばよいかを考えよう。</p> </div> <p>書いたものをグループ内で交流し、よいところを見付けたり、書き直した方がよいところを正したりする。 横書きの決まりを知る。 ・左から右へ書くこと。 ・「、」を用いること。 ・漢数字を用いる場合があること。 話し合ったことをもとに、説明書をより分かりやすく書き直す。</p>	<p>ウー 仲間の説明書のよいところや直した方がよいところを進んで指摘している。</p>	<p>学習プリント 観察 善し悪しが分かる部分に印をつけ、指摘しているか観察する。</p>	<p>仲間の説明書のよいところや書き直した方がよいところを進んで指摘している児童を価値付ける。</p> <p>横書きの決まりについては、実際に書いていく中で適宜指導する。</p>
7	<p>私の大好きな料理の説明書を仲間に分かりやすいように清書することができる。</p> <p>自分の学習を振り返り、書くことに対する成就感とこれからの自分の課題をもつことができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>私の大好きな料理の説明書を、仲間に分かりやすいように清書しよう。</p> </div> <p>前時の話し合いをもとに、仲間に分かりやすいように清書する。本単元での自分の学習を振り返り、書くことに対する成長点を自覚するとともに、これからの課題をもつ。 清書したものを「3年2組の大好きな料理集」として一冊にまとめる。また、まとめた冊子を家に貸出し、実際に料理を作るように勧める。さらに読んで作った感想を書き込むようにさせる。</p>	<p>・清書をする際、ウー オーに気を付けている。</p> <p>アー 自分の書き方を振り返り、書くことに対して次への課題をもっている。</p>	<p>清書用紙 単元後に評価する。</p> <p>学習プリント 自分の作品を正しく評価する振り返りとなっているか評価する。</p>	<p>これまでの学習をもとに、仲間に分かりやすいように、ていねいに清書している児童を価値付ける。本単元で成長が見られた児童を紹介し、価値付ける。授業後に、各自の清書用紙をまとめ表紙を付けて表装し、3年2組の宝物とする。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・わたしの大好きな料理について、事柄ごとのまとまりや時間の経過によって段落を区切り、続き方に気を付けて分かりやすい「作り方の手順」を書くことができる。

(2) 本時の位置

4 / 7 時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	形 態	評価について	指導・援助
導入	<p>「家特製 中華風焼きそば」について、2種類の「作り方の手順」を読み、その違いを見つけてプリントに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2種類の「作り方の手順」を提示する。 <p>作り方の手順A 作り方の大きなまとまりごとに小見出しを付けて段落に分けた例 作り方の手順B 順序よく書かれているが、段落が一つしかない例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aは「切る」「炒める」「味を付ける」「盛り付ける」の四つの事柄ごとに段落（大段落）があり、小見出しがついていて分かりやすいけど、Bは一つの段落だけで書いているから、分かりにくい。 ・Aは料理をするときの時間や手順で段落（小段落）が区切っているから分かりやすい。プリントに書いたことを発表する。 	学級全体	<p>アー</p> <p>事柄の選択や段落相互の関係など、より分かりやすい説明について考えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント 小見出しや段落の分かりやすさにふれているか評価する。 	<p>2種類の「作り方の手順」は、事柄ごとのまとまりや時間の経緯によって段落が区切られていることを板書をもとに示す。</p> <p>気付いたことを発表させ、段落に区切られていることのよさについて板書に位置付け、視覚的に意識できるようにする。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>段落の区切りに気を付けて、私の大好きな料理の「作り方の手順」を書こう。</p> </div> <p>「取材メモ」を見ながら、大段落や小段落をどのように決めていくかを考える。</p> <p>「作り方の手順A」を参考にし、私の大好きな料理について、各自作り方の手順を書く。</p>	学級全体		
終末	<p>（5 / 7時に引き続き書く。）</p> <p>書き上げた時点で、仲間同士で交流し、よいところを見つけたら書き直した方がよいところを正したりする。</p>	個人	<p>ウー</p> <p>事柄ごとのまとまりや時間の経過によって段落を区切り、続き方に気を付けて書いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント 小見出しに合った内容を書いているか評価する。 	<p>段落の区切りが決められない場合には、Bの提示資料をどのように直していくAの提示資料のようになるか、順を追って説明する。</p>
		個人		
		グループ		<p>児童によって進度が異なると思われるので、書き上げた児童同士で交流することとする。</p>

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

ウー

事柄ごとのまとめりや時間の経過によって段落を区切り、続き方に気を付けて書いている。

(2) 評価の実際

【評価方法】 学習プリント

【判断した児童の状況例】

- ・「切る」「炒める」「味を付ける」「盛り付ける」など調理内容のまとめりによって段落（意味段落）を区切り、その小見出しが書けている姿を「おおむね満足できる状況」にあると判断した。
- ・調理内容のまとめりによって段落の区切りをつけられない姿を「努力を要すると判断した状況」にあると判断した。この要因としては、「取材メモ」を見てもどのように段落に区切ったらよいのかが分からないためと考えられる。

(3) 個に応じた指導の実際

- ・「取材メモ」を見てもどのように段落に区切ったらよいのかが分からない児童に対しては、黒板の前に集めてBの提示資料（順序よく書かれているが、段落が一つしかない例）を、どのようにすればAの提示資料（作り方の大きなまとめりごとに小見出しを付けて段落に分けた例）のようになるかを順を追って説明した。また、それでも書き進められない児童に対しては、個別にその子の取材メモに、調理内容や段落の切れ目となる部分を書き込み、説明した。児童は、自分の料理がいくつの調理内容になっているかに気付き、下書き原稿に調理内容ごとに段落を区切りながら書き進めることができた。